

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	39 市民生活を支える質の高い道路空間の確保（防災・安全）	重点配分対象の該当
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象 瀬戸市
計画の目標		

- 目標1：既存道路の舗装修繕等により、道路を走行する自動車利用者が安全、快適に利用できる道路空間の形成を目指す  
 目標2：既存道路の舗装修繕等により、沿道住民の生活環境の改善を図ることを目指す

計画の成果目標（定量的指標）

- ① 舗装修繕計画に位置付けられている既存道路の舗装修繕により、道路環境の安全性、快適性向上を図り、整備率88.2%を目指す。  
 ② 既存道路の舗装修繕より、道路の利便性に関する満足度の2.9%増加を目指す。

定量的指標の定義及び算定式

①既存道路の舗装修繕率  
 瀬戸市の市道のうち、舗装修繕計画に位置付けられている道路の舗装修繕率  
 (舗装修繕率)=(整備済み延長+5年間で実施する整備延長)/(舗装修繕計画の総延長)

②道路の利便性に関する満足度  
 道路が整備され、車で市内をスムーズに移動できていると感じている人の割合  
 (道路の利便性に関する満足度)=(「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人)/(合計)

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
(H25当初)	(H27)	(H29末)	
64.5%	78.0%	88.2%	
49.1%	50.5%	52.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	292百万円	A	286百万円	B	0百万円	C	6百万円
-------	------------	--------	---	--------	---	------	---	------

効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2%
---------------------------	----

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	令和2年2月
瀬戸市の担当部署において実施	公表の方法
	市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
39-A-1	道路	一般	瀬戸市	直接	-	市町村道	修繕	(1) 駒前線ほか7路線	舗装修繕 L=4800m	瀬戸市						286	
											合計	286					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
											合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
39-C-1	調査・計画	一般	瀬戸市	直接	—	調査・計画	事業効果分析	事後評価	瀬戸市						—	事業廃止
39-C-2	調査・計画	一般	瀬戸市	直接	—	調査・計画	路面性状調査	舗装修繕計画作成	瀬戸市						6	
										合計			6			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
39-C-1	目標指標の達成状況を確認し、事業効果を分析するとともに、今後の事業への課題等を整理できる。															
39-C-2	整備計画の初年度に舗装修繕計画を策定することにより、現在計画中の修繕計画を見直し、より効果的かつ効率的な修繕を実施することが可能となる。															

## 2. 事業効果の発現状況、目標地の達成状況

I 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		・修繕箇所における道路を走行する自動車利用者が安全、快適に利用できる道路空間の形成できた。														
II 定量的指標の達成状況	指標①既存道路 の舗装修繕率	最終目標値	88.2%	目標値と実績値 に差が出た要因	目標値を達成。											
		最終実績値	88.2%													
	指標②道路の利 便性に関する満 足度	最終目標値	52.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	既存道路の舗装修繕により、道路環境の安全性、快適性向上を図ったが、修繕された区間は市道全体の一部分であることから、瀬戸市全体において道路が整備され、車で市内をスムーズに移動できていると感じている人の割合が増加しなかったため。											
		最終実績値	41.0%													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		なし														

## 3. 特記事項（今後の方針等）

今後も計画的な舗装修繕を継続し、道路を走行する自動車利用者が安全、快適に利用できる道路空間を形成していく。

# 社会資本総合整備計画

計画の名称	39 市民生活を支える質の高い道路空間の確保 (防災・安全)		交付対象	瀬戸市
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)			

## 管内図 (瀬戸市・尾張旭市)

番号	路線名	208	上半田川名古屋線
155	1 5 5 号	209	愛知青少年公園瀬戸線
248	2 4 8 号	210	中水野品野線
363	3 6 3 号	212	宮元東古瀬戸線
		213	鎌木尾張旭線
		214	松本名古屋線
		523	広久手八草線

  

主要地方道		河川名	
15	名古屋多治見線	No.	河川法一般河川の部
22	瀬戸環状線	2	欠田川
33	瀬戸設楽線	6	天神川
53	春日井瀬戸線	7	瀬戸川
57	瀬戸大府東海線	34	水野川
61	名古屋瀬戸線		
75	春日井長久手線		

  

一般県道	
205	下半田川春日井線
207	宮元山線

